

## ポストコロナ時代における「支え合い」

～新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響～

令和2年、新型コロナウイルス感染症が発生し、本市においても同年3月以降、感染症の流行が見られました。

感染拡大を防ぐため、「3つの密」（①密閉空間、②密集場所、③密接場面）を避けることが求められ、各種イベントの中止や学校の休校、各種施設の休館に併せて、市民にも外出の自粛などの要請が行われました。

そして、高齢者サロンや認知症カフェ、子ども食堂等の開催の見合わせ、また、民生委員や福祉協力員による訪問活動の自粛など、地域で行われている通いの場や見守りの活動にも大きな影響が及びましたが、

- ・ 民生委員や福祉協力員が中心となって、健康や介護予防に関する情報を掲載したチラシの配布や、往復はがき等で連絡をとりあう
- ・ 青空のもとでの子ども食堂の開催、各家庭に弁当を配布する

等、地域での見守りや支援を継続してきました。

その後、新型コロナウイルス感染症の感染予防を図りながら生活を行うための「新しい生活様式」が示され、本市においても、「5つの行動目標」の実践を呼び掛けており、日常生活のあらゆる場面で感染防止を意識することが求められています。

新型コロナウイルス感染症を契機として大きな変化を迎えた後の「ポストコロナ」と呼ばれる時代においても、地域での交流や見守りをとだえさせることのないように、

- ・ 交流の場あり方
- ・ 健康づくりや介護予防のあり方
- ・ ICT（アプリ等）の活用

など、「新しい生活様式」を踏まえた地域での「支え合い」について考えていきます。

## 地域での活動に参加する

地域によって地理的条件やそこに暮らす住民の年齢層が異なるため、それぞれの地域のもつ課題やニーズも異なります。

地域の課題を自分たちで把握し解決するため、見守りや支え合い、健康づくりや生きがいづくりなど様々な分野において、主体となって活動しましょう。

### 【実現に向けた取組み】

#### ◆地域での活動を続けることができる環境づくり

NPO、ボランティア団体など地域で活動している団体が活動を続けることができるよう、活動に資する情報の提供や相談対応、助成金や場所の提供等の支援を実施します。

#### 【主な取組み】

##### ●北九州ボランティア・市民活動センター（北九州市社会福祉協議会）

「誰もがボランティア活動ができる社会、すなわち誰も排除しない共生文化を創造すること」を使命として、ボランティア・市民活動の広報・啓発、福祉教育の推進、活動者の育成、ボランティア・市民活動団体のネットワーク構築、災害復興に対応するための体制づくり、ボランティア活動への参加を支援する事業等に取り組んでいます。

##### ●北九州市市民活動サポートセンター

市内において、ボランティア活動をはじめとする自由な社会貢献活動としての市民活動の健全な発展を促進し、もって公益の増進に寄与することを目的として、コムシティ内に設置しており、NPO・市民活動などに関する相談対応や助成金等の情報提供、ミーティングスペースをはじめとする設備の貸し出し等を行います。

## ◆地域の課題を自分たちで把握し、解決することができる環境の整備

自治会・町内会をはじめとする地縁団体や社会福祉協議会、企業や事業者、NPO やボランティア、行政などが連携し、地域のもつ課題を自分たちで把握し、地域の実情に合わせた解決ができる環境をつくります。

### 【主な取組み】

#### ●地域包括ケアシステムの構築に向けた「協議体」(校区の作戦会議)

高齢者等の生活支援の充実と社会参加を促進し、地域の互助能力を高めることを目的に、「高齢者サロン」や「認知症カフェ」などの通いの場づくりや「ボランティア」など地域住民による助け合いづくり、また買い物や送迎サービスなど事業者やNPO等と連携した生活支援サービスづくりなどについて、様々な関係者が協議を行う協議体(校区の作戦会議)の取組みを進めていきます。

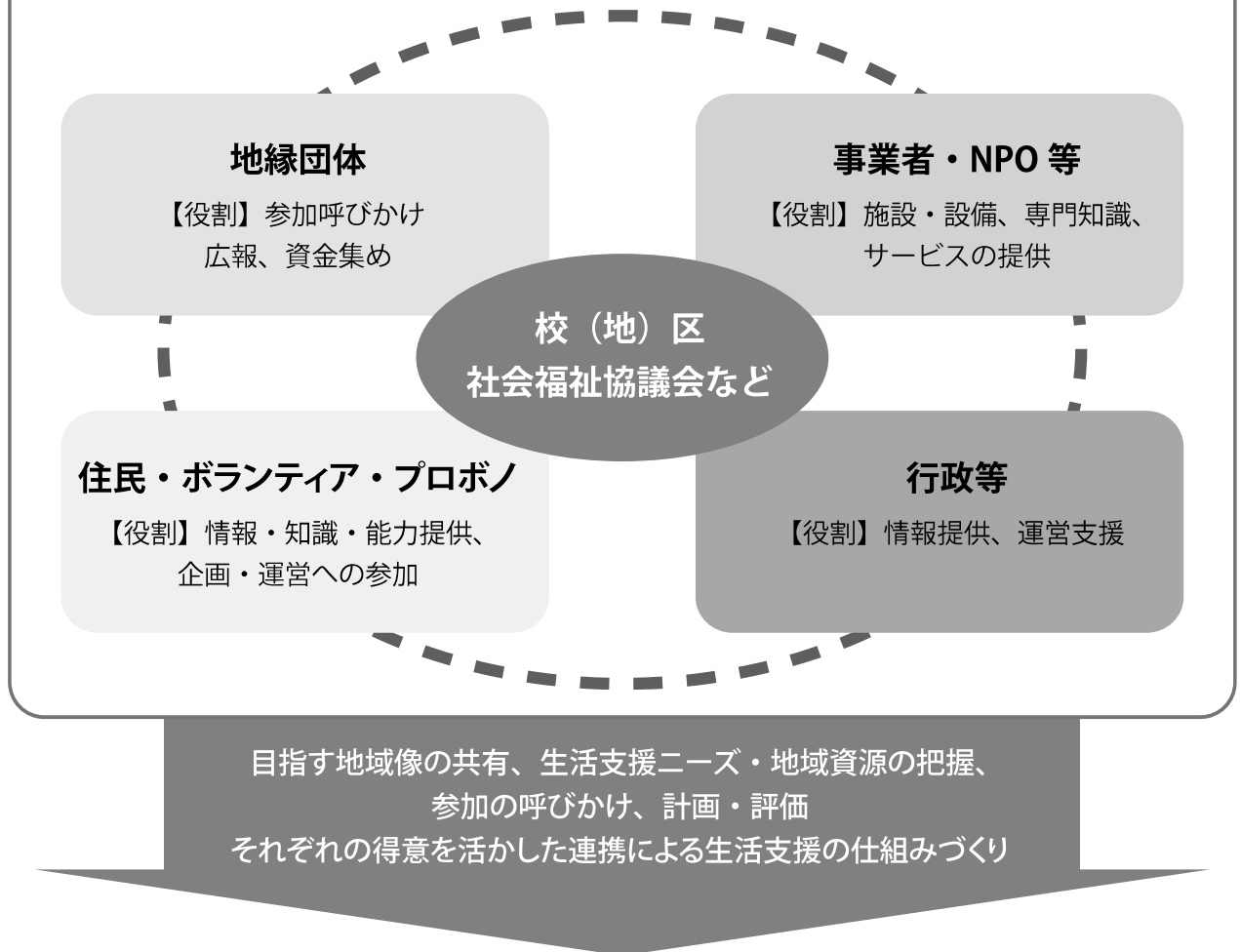
この協議体を効果的に運営できるように、区役所に配置している地域支援コーディネーターや、いのちをつなぐネットワーク担当係長が連携し、その地域の実情に合わせて、地域が主体となった課題の解決に向けた取組みの支援を行います。

## 地域での活動報告

### 協議体(校区の作戦会議)での実施例

- 地域全体の健康づくりや見守りを目的としたサロンを開催し、作戦会議内で随時実施報告をしつつ、内容の充実に向けた取組みを実施しています。
- 最寄りの店まで遠く買い物に困っている地区では、地域住民で話し合い、行政や企業と協力して、買い物バスの運行や移動販売車を呼び込んだ朝市の開催などを実施しています。
- 浸水想定区域となっている地域では、消防署と連携して図上訓練を実施し、浸水想定区域や冠水場所、避難ルートなどの確認をして防災意識を高めています。

## 協議体（校区の作戦会議） イメージ図



## 住み慣れた地域で安心して暮らせるための作戦

～全員参加と地域資源の組み合わせによる地域づくり～

